

ふれあいネットワーク



社協

まつもと

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail:syakyoum@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoum/

福祉のスクラムがっちい

梓川地区・世代間交流「七夕まんじゅう」



安曇地区・子ども太鼓



奈川地区・七夕集会



四賀地区・子育てファミリーサロン

安心・いきいきの地域づくりへ

平成17年 No.165

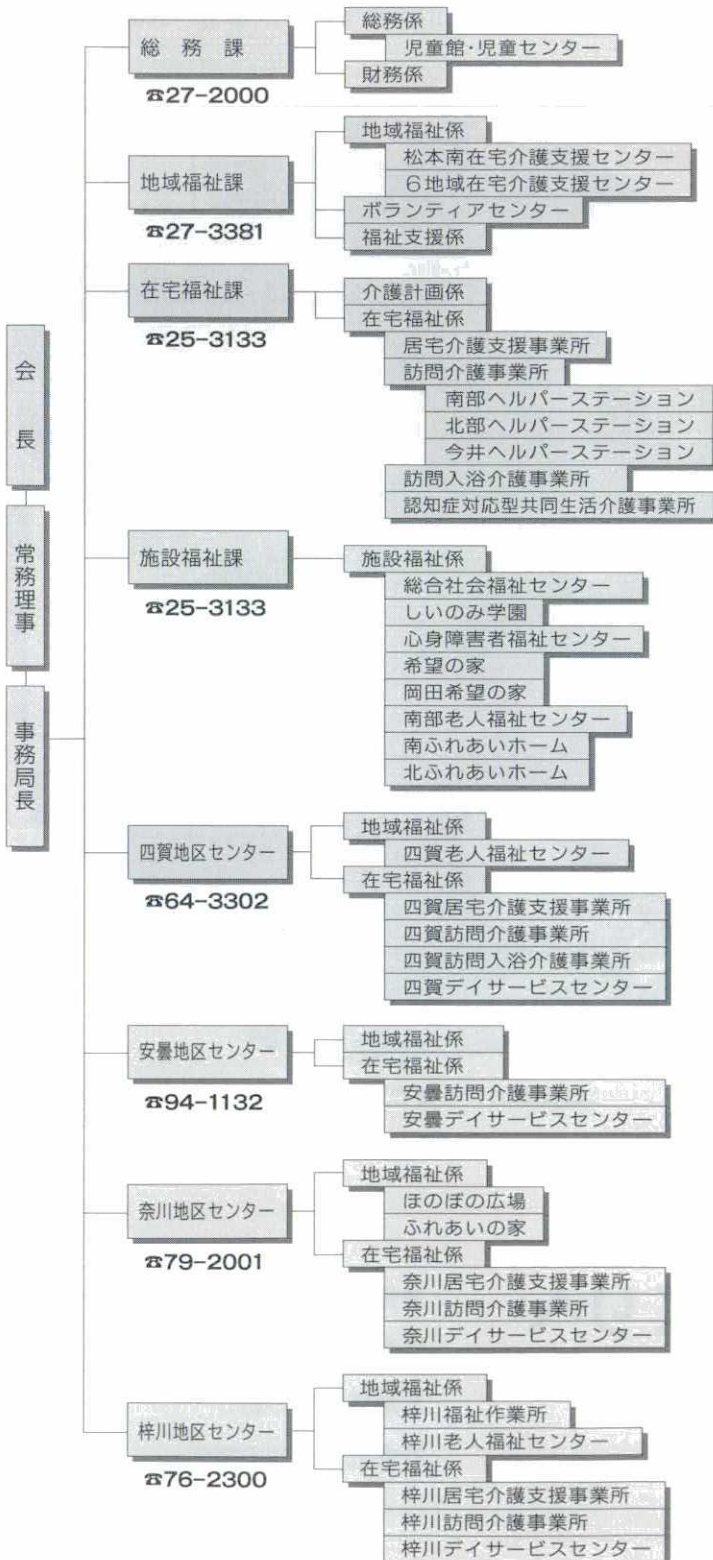
6月15日号

- ・合併後の社協組織……………2P
- ・新会長の就任ご挨拶……………2P
- ・新地区社協の紹介……………3~6P
- ・社会福祉大会の案内……………7P
- ・ふくしかわらばん……………8P

社会福祉協議会は、みなさんの会費で支えられています。

新たな福祉のまちづくりをめざして 新松本市社会福祉協議会スタート

旧四村に地区センター



本年四月一日の五市村の合併に伴い、松本市社会福祉協議会（社協）の合併も行われ、活動地域が大変広くなり、また組織も変わりました。合併により、旧四村には支所機能を持つ地区センターが設置され、社協は八課十六係、職員数も三百七名となり、新たな歩みを始めました。そこで、新松本市社協の組織また四賀、安曇、奈川、梓川の旧四村の福祉活動についてご紹介いたします。

就任にあたって

福祉のまちづくりをともに進めましょう



松本市社会福祉協議会
会長

渡辺 聡

五市村社協合併の記念すべき年に五十有余年の歴史と実績を持つ市社会福祉協

議会の会長に就任し、責任の重さを痛感しております。少子高齢社会・核家族化

が進む中で、高齢者の介護、児童の健全育成、障害のある方の社会参加と就労、また災害時の救援体制づくり等、地域を取り巻く福祉課題がたくさんあります。新市民の皆さんを含め、住民の皆さんが今暮らしている場所、これから安心していきいきと暮らせる地域づくりを進めていきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

地区社協の組織も、役員をはじめ地域のみなさんのニーズを活かしたネットワークづくりを充実し、活動の相談や情報の発信等の身近な窓口として松本市社協と連携して住民福祉の展開を行っていきま

す。

今年度は住民の参加協力による小地域組織をつくり、身近な集会場や公民館などを活用した事業「いきいきサロン」の立ち上げ、住民の皆さんが中心になって自分たちの手で作り上げる住民福祉を目指しています。

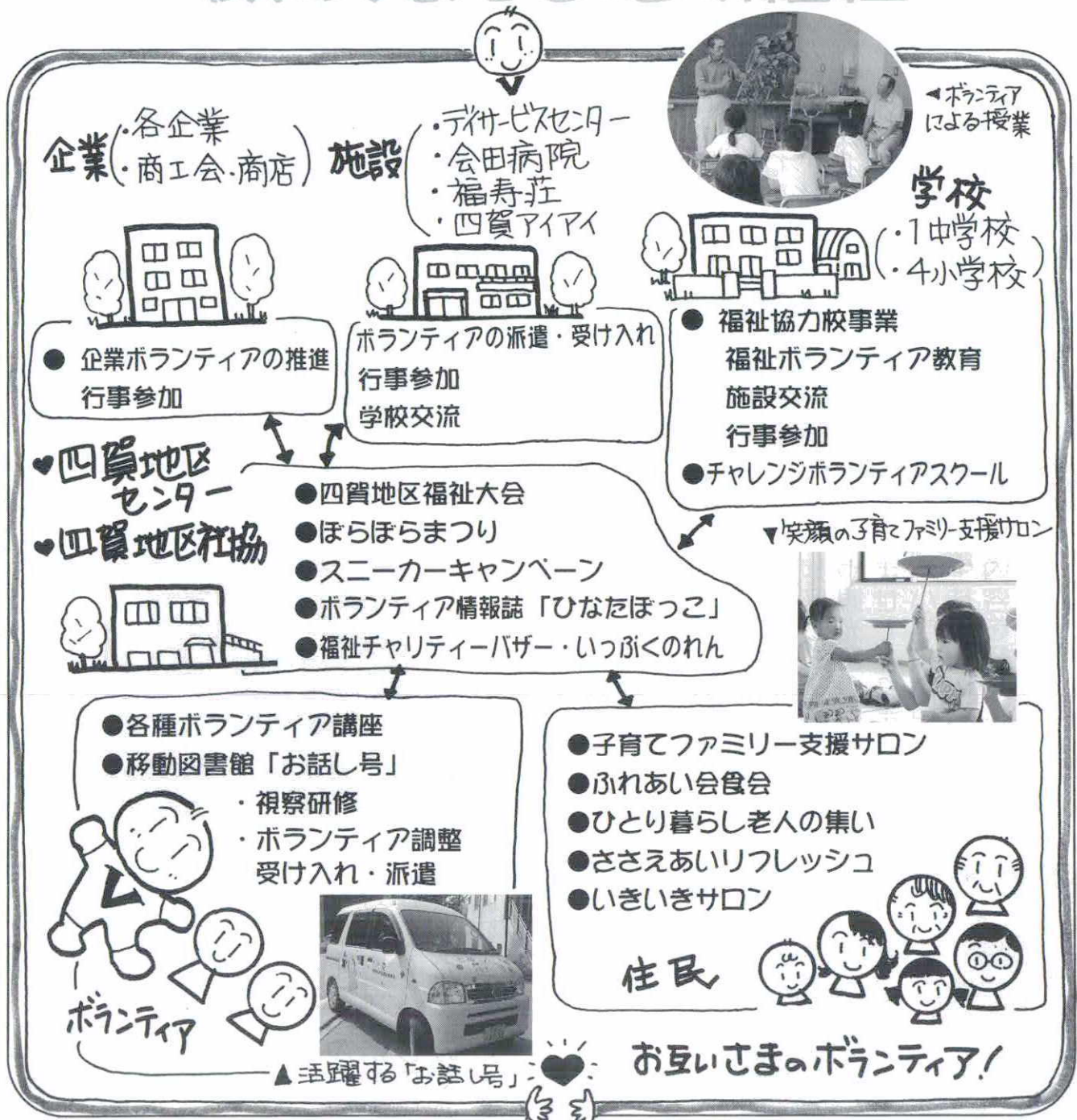
福祉の面もボランティア活動も、盛んに行われています。地区社協と住民の横の連携が取れていて、地域のみなさんの顔の見える活動を行っています。

仲間入りした
四賀地区
です。

四賀地区は、緑豊かな山間地です。人口6千70人、高齢化率30・2%。



顔の見える地域福祉





安曇地区

安曇地区社協で行われている福祉活動について、写真と併せて、いくつかご紹介いたします。

ふれあいの会



地区内で一人暮らしをしている七十歳以上の方たちの会が「ふれあいの会」です。

交流と心身の充実を目的として、年に二回の研修を兼ねた日帰りの旅行と、料理教室や、ニュースポーツ等を行っています。

これからも会員の皆さんは元気に地域内で活躍してくださいと思います。

ボランティアグループ

主婦の方々を中心に活動しているボランティアのグループです。

デイサービスでの活動をはじめ、毎月高齢者の方にお弁当をお届けする「ふれあい弁当」は、それぞれの町会ごとにお楽しみ会を開いて高齢者と交流しています。

左の写真は、保健センターの花壇で作業をしているところです。



シニアボランティアグループ



シニア世代の男性を中心としたグループで地区のバス停周辺の清掃や草取り、冬には雪かきなど、月二回活動しています。

また、竹を加工した花入れをバス停に設置して花を飾り、地区のバス利用者や観光客の目を楽しませてくれます。

小学校や中学校の生徒さんにも活動の内容を紹介し、世代間の交流も行っています。

小中学生ボランティアグループ

安曇地区にある安曇・大野川小中学校の児童や生徒の有志で構成されているボランティア（体験）グループです。

地区のボランティアグループの活動を体験して交流したり高齢者の方との交流や福祉体験などもしています。

福祉や地域での活動に目を向け、将来を担っていつてもらいたいと期待しています。



奈川地区



奈川名物 とうじそば

奈川地区社協設立

合併して間もない四月二十八日、地区町会長他福祉関係者が集まり新しく奈川地区社会福祉協議会が設立されました。

今後の福祉のまちづくりの拠点として重要な意味を成す地区社協は、地域のニーズに沿った事業を展開し、だれもが住みやすい地域づくりをめざして、住民の皆様と共に歩んで行くことをモットーにしています。

奈川地区は野麦峠の麓に位置し標高千メートル前後に住宅が点在し、清らかな空気と水そして人々の人柄が自慢の地域です。千人足らずの小さな地域です。お互いに助け合いの精神をモットーに支え合いながら生活しています。



旧奈川村の村花 ささゆり

合併しても地域の福祉が後退しないよう、今まで行ってきた、「中学卒業生を励ます会」や「ふれあいまつり」「親と子のいきいき講座」「一人暮らし老人の集い」などは引き続き計画していきます。

介護者教室



参加者もなごやかに

毎日の介護から少しでも解放されリフレッシュすることも必要です。介護者教室では心のケアも目指しています。

園芸療法講座

ボランティアグループささゆりの会（会長・中嶋寿市氏）では、今年度の新規事業として園芸療法講習会を開催しました。

これは、地域や施設での心の豊かさというメンタルな面と、人と人とのつながりから環境美化や健康増進と癒しの部分を目指した講習会で、年に数回を予定しています。

親と子のいきいき講座



おいしいケーキできるかな

パティシエからのケーキ作り指導が好評でした。

講師にはハマフラワープークの江間氏を招き、寄せ植え講座を行いました。出上がった寄せ植えは、人それぞれに鮮やかな色をかもし出し、皆一様に満足の表情でした。園芸療法ボランティアの活躍が期待できます。

ささゆりの会はこのほか一人暮らし老人世帯への配食サービスなど地域ニーズに即したボランティア活動を行っています。



わたしのでき栄え どう？

デイサービスセンター 心和荘

心和荘の隣は奈川保育所です。園児たちがデイサービスを訪問してくれました。突然の訪問に利用者も大喜び。一緒にボール遊び等で楽しい時間を過ごしました。



ワイ 遊ぼうぜ

梓川地区

独自の地域福祉活動を

地区社協がスタート

梓川地区社会福祉協議会の設立理事会と評議員会が五月十一日に行われ、会

則の承認や役員体制の決定などの組織作りと、平成十七年度の事業・予算の承認が行われました。今後は、これらの決定を基に、梓川地区独自の地域

会長	太田 冲彦
副会長	木船 智二
副会長	福嶋 弘
会計	降幡 享子
監事	中沢 高俊
監事	西牧 利雄

就任にあたって

量的・質的に拡充した社会福祉を



梓川地区

社会福祉協議会

会長 太田 冲彦

地区社協の会長をお引き受けすることになりました。これからは地区住民と関係団体自らが地区に合った独自の福祉活動

を協働して行っていくことが求められています。そこで福祉活動の拠点としての地区社協が発足し、梓川地区に即した事



楽しみながら

介護予防

地域の高齢者の方々が、介護をできるだけ必要とせず、いつまでも元気で暮ら

業に取り組むことが重要と思われます。

今後ますます進む少子高齢社会に対応しながら、地域で自助努力し、地区社協を中核として、これから多様化する福祉ニーズに対し、量的にも質的にも拡充を図りながら、心豊かで文化的な生活を営む社会を作っていくと願っています。皆様の一層のご指導ご協力をお願いいたします。

- せるように、次の事業を実施しています。
- ① 生きがいデイサービス
介護保険の認定を受けていない高齢者を対象に、入浴・体操・ゲーム等をした
 - ② 一人暮らし老人の会
り楽しんでいきます。

- ③ こんにちほコール
一人暮らしの高齢者の方にお電話して、話し相手になりながら、安否確認をしています。
- (むつみあいの会)
介護保険を受けていない一人暮らしの方を対象に、月一回のお茶会をしたり、旅行をしたりしています。

障害者の抛り所

共同作業所

梓川障害者等共同作業所「ほほえみの家」は、平成六年に開所し、月曜日から金曜日まで毎日十名ほどの人が通っています。牛乳パックでのイス作り、

足でハサミを使って牛乳パックを開く作業、木を磨いての花台など、適性に合った作業をしています。また、ボランティアの皆さんに協力いただいて、七夕やクリスマス会、他の作業所との交流会にも参加しています。



いきいきサロン充実 ボランティア地区活動

地区内のボランティアの会は「ふれあいいきいきサロン」を開催し、食事会やレクリエーションで高齢者の憩いの場づくりを実施しています。小学生が参加する地域もあって、世代間交流で大きな役割を果たしてきました。



第46回松本市社会福祉大会

新松本市の誕生を記念し、これからの新たな福祉のまちづくりについて、市民の皆さんと一緒に考える機会として大会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

- ☆期 日 平成17年7月9日(土) 午後1時～4時40分
- ☆会 場 まつもと市民芸術館 (深志3-10-1)
- ☆参加費 無 料
- ☆テーマ 「地域福祉のまちづくりを市民とともに！」
- ☆日 程

12:30	13:00	13:40	15:20	16:40
受付	式典	シンポジウム	記念講演	閉会

【シンポジウム】

地域活動実践者4名の事例発表を中心に、合併を契機としたこれからの地域づくりについて討論を深めます。

◇コーディネーター

松本大学助教授

白戸 洋 氏

◇事例発表者

本郷地区福祉ひろば推進協議会副会長

秋山 實弘 氏

蟻ヶ崎東町会長

西村 忠 氏

四賀の里生涯学習会ボランティア部会長

佐々木 清夫 氏

災害ボランティア体験者

山崎 博之 氏

【記念講演】 ◇講師 女優 樹木希林氏

◇演題 「人生の役どころ うれしい配役」

《問い合わせ》 松本市社会福祉協議会 (☎27-3381)

福祉自動車・車イスをお貸ししています



【福祉車両】

車イスを使用されている方や歩行が困難な方に、車イスに乗ったまま乗降できるリフト付福祉自動車を貸し出しています。通院・買い物・行楽にご利用ください。

- ◆1回につき2泊3日を限度にお貸しします。
- ◆利用料は10キロ走行することに100円です。
- ◆利用申請される際には印鑑をご持参ください。

【車イス】

市民の皆さんや、団体・企業から寄贈していただいた車イスを無料で貸し出しています。

- ◆どなたでもご利用いただけます。
- ◆期間は原則として6カ月以内。継続される場合は再申請が必要です。(受付：平日午前8時30分～午後5時15分)

《申し込み》 松本市社会福祉協議会 (☎25-3895)



ふ く し ・ み や こ ば ん

社協会費納入のお願い —毎年7月は社協会費の納入月です—

社会福祉協議会は市民による市民のための福祉団体です。運営は市民の皆さんからの「会費」や「共同募金」、県・市からの補助金や委託料などで充てられ、さまざまな福祉事業を行っています。

皆さんから納入していただく会費は、社協の行う各種事業の貴重な財源となりますので、納入にご協力ください。

社 協 会 費 の 種 類



一般家庭

世帯会費
年額 300円

・市内の全世帯にお願いするものです。



施設・団体

施設・団体会費
年額 2,000円

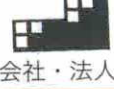
・福祉施設・団体等にお願いするものです。



個人

特別会費
年額 1口
1,000円以上

・社協事業に賛同してくださる個人にお願いするものです。



会社・法人

賛助会費
年額 1口
10,000円以上

・社協事業に賛同して下さる法人・会社等にお願いするものです。

※旧4村の皆さまは、地区社協の会費を含め従来どおりのご協力をお願いします。

おもちゃの家ボランティア募集

松本おもちゃ図書館では、障害のある子どもとおもちゃで遊んだり、貸し出すことを通して子どもの発達を進めています。

おもちゃに興味があり、子どもが好きで一緒に遊んでくれるボランティアを募集します。

◆活動場所

松本市総合社会福祉センター 1階(双葉4-16)

◆活動日 毎月第1水曜日 午前11時～午後3時
毎月第4土曜日 午後1時～午後4時

◆申し込み 代表 竹内慶子 (☎27-0055)

賛助・特別会員加入のお願い

社会福祉協議会は、市民全世帯を会員として会費を納めていただいて、社会福祉事業を進めています。

しかし、多様化する福祉ニーズに応え、地域福祉を進めるために、より多くの財源が必要となっています。

そこで会社・事業所・個人の篤志家の皆様のご支援ご協力をお願いします。

◆賛助会員(会社・事業所) 1口年間 10,000円

◆特別会員(個人) 1口年間 1,000円

◆問い合わせ 松本市社会福祉協議会(☎27-3381)

「在宅介護者のつどい」参加者を募集しています

ちょっと一息、日頃の疲れをリフレッシュ。参加費は無料です!

◆募集対象

現在、在宅で寝たきりや認知症の高齢者を介護されている松本市内に在住の方

◆申し込み方法

下記のコースからひとつを選び、締切日までにお申し込みください(定員35名)

◆申し込み・問い合わせ

松本市社会福祉協議会 電話 25-3895・FAX 27-2239

◆期日・場所・内容 (各地区の方々が参加しやすいように集合場所等を検討いたします。)



コース	期 日	場 所	内 容	募集締切日
A	9月7日(水)～8日(木)	石川県 山代温泉	介護者の交流・懇談・相談	8月18日(木)
B	10月5日(水)～6日(木)	浜名湖 館山寺温泉	〃	9月15日(木)
C	11月15日(火)	山梨県 河口湖	〃	10月27日(木)
D	2月15日(水)	松本市 浅間温泉	つぼマッサージ・交流・相談	1月26日(木)

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。